

脳と
言語

脳とは何か？ 言語とは何か？ 多言語習得はいかにして可能か？
脳は言語の産出にどう関与しているのか？
AI時代の未来を視野に収めつつ、脳と言語、脳と芸術の
根源的な関係性をめぐって考える。

日時
2019 2/23 土 14:00 ~ 17:15

場所 名古屋外国語大学 5号館 511 教室

開催 主催 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター
後援 創立30周年記念事業委員会

対象 どなたでも参加できます

講演

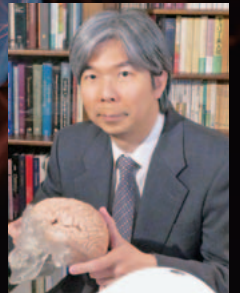
「脳はどのように
言葉を創るか」

酒井 邦嘉

SAKAI Kuniyoshi

東京大学大学院教授

1964年、東京生まれ。日本を代表する脳生理学者、東京大学教授。東京大学理学部物理学科卒業後、同大学院博士課程修了、博士(理学)。ハーバード大学医学部リサーチフェロー。マサチューセッツ工科大学研究員を歴任。『言語の脳科学』で毎日出版文化賞受賞。脳機能マッピングによる言語処理機構の解明により、第19回塚原伸晃記念賞受賞。チョムスキー言語学と脳科学を統合し、人間の脳が言語を生み出す仕組みを解明している。主な著書に、『言語の脳科学—脳はどのようにことばを生み出すか』(中公新書)、『科学という考え方—アインシュタインの宇宙』(中公新書)、『芸術を創る脳—美・言語・人間性をめぐる対話』(東京大学出版会)、『高校数学でわかるアインシュタイン』(東京大学出版会)他。



コンサート

野村 友紀

NOMURA Yuki

チェロ奏者

バッハ：無伴奏チェロ組曲第2番ほか

愛知県立瑞陵高校、京都市立芸術大学音楽学部卒業。2005年渡独、州立カールスルーエ音楽大学にてディプロムを、室内楽コースで国家演奏家資格を取得。現在、名古屋市立菊里高校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部、椋山女学園大学教育学部非常勤講師。

トリログ・
シンポジウム

「ドストエフスキーと脳」

亀山 郁夫 KAMEYAMA Ikuo 名古屋外国語大学学長 ロシア文学

1949年生まれ。東京外国語大学卒業、東京大学大学院博士課程中退。著書『磔のロシア』、『謎とき「悪魔」』、『ショスタコヴィチ』、訳書『ドストエフスキー「カラマゾフの兄弟」』他。

「定型発達児と自閉スペクトラム症幼児の
聴覚反応と順番交替」

川原 功司 KAWAHARA Koji 名古屋外国語大学准教授 言語学

1977年生まれ。大阪大学文学部卒業、連合王国ヨーク大学言語学科博士課程修了。PhD in Linguistics (The University of York)。統語論、意味論、語用論に関する論文多数。

司会 梅垣 昌子 名古屋外国語大学教授

申込み方法

当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。

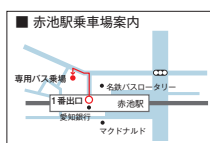
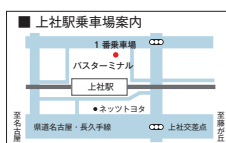
<https://req.qubo.jp/wlac/form/20190223>



■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

Tel: 0561-75-2164 (直通)
mail: wlac_gg@nufs.ac.jp



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。